

平成16年度 コムギ遺伝資源小委員会及び NBRPコムギ運営委員会議事概要

日時：2004年9月4日（土）午前10時 - 午後5時

場所：京都大学農学研究科

出席者：

山崎、河原、安井、山根、笹隈、笹沼、荻原、川浦、辻本、田中、村井、森川、寺地、西田(加藤代理)、那須田、遠藤、土門（オブザーバー、ライフサイエンス課）
（順不同、敬称略）

議題：

1. 平成16年度前半事業経過及び後半事業予定報告（各業務別グループ代表）

- 河原委員 資料
- 遠藤委員 資料
- 笹隈・笹沼委員 資料
- 辻本委員 資料
- 荻原委員 資料

1-6の資料はこちら[pdf形式](#)、[別ファイル](#)

協議・報告：

1. NBRPホームページ、種子配布システムの説明

山崎委員、安井委員 NBRP資料[pdf形式](#)、[別ファイル](#)

2. 2004年度分子生物学会での特別企画の予告

遠藤は、ライフサイエンス課では本年度も神戸で開催される第27回分子生物学会（12月8日-11日）でリソースの利用促進を図るためのパネル展示・シンポジウムの企画を予定している旨の連絡があったことを報告した。

本年度は中間評価の年度でもあり、パネル展示・シンポジウム企画にコムギ小委員会の総力を挙げて取り組みたいと思います。具体的な企画・要領が決まりましたらワーキンググループを組織したいと思います（遠藤私見、ご意見を下さい）。

3. その他

- 野生種の種名について異名の一覧表と推奨種名をKOMUGIに掲載することを検討した。
- コムギの異数体（ダイテロ、ナリテトラ）や代表的野生種のDNAを配布する方向で検討した。

- 笹隈委員から中間評価に向けた総括とその他問題点についての発言があった。
- 辻本委員からコムギ遺伝学シンポジウム・ムギ類分子生物学研究会と学術会議遺伝資源研究連絡委員会シンポジウムの案内があった。

講演会：

遺伝資源の国際交流・貢献の活動の一環としての研修講演を行なった。

1. Prof. R. Neil Jones (Univ. of Wales Aberystwyth, UK；京都大学農学研究科に滞在中)
「Chromosomes without genes-in plants」 （ライムギを初めとするB染色体の話です)
 2. Dr. H.K.Chaudhary (CSK Himachal Pradesh Agricultural University, India；大阪教育大学に滞在中)
「Towards sustainable utilization of the Indian winter wheats and other north-west Himalayan plant genetic resources following ceratin novel tools」 （インドの冬小麦品種と西北ヒマラヤの遺伝子資源について)
-